

お口のくち

健康情報室

今回は、顎関節症についてのお話です。

顎関節症は、口を開いたり閉じたりした時に、あごの関節やあごを動かす筋肉が痛む（顎関節痛、そしゃく筋痛）、関節から異音がある（顎関節雑音）、あごがスムーズに動かないといった症状をまとめた名前です。口が開かなくなる症状（開口障害）が起こる

顎関節症 早期診察を

こともあり、固い食べ物が食べにくい、あごの音が煩わしいといった生活の支障が出る場合もあります。

原因としては、歯ぎしりや食いしばり、かみ合わせの異常といった身体的な問題だけではなく、ストレスや極度の緊張が関連していることもあります。適切に治療せずそのままにしておくと慢性化し、あごの関節が外れやすくなったり頭痛になったりする恐れもあります。

かみ合わせを治療で改善したり、日常生活の悩みを取り除いてストレスを軽減したり

することで、多くの場合は快方に向かいます。症状が出たら、歯科医師による適切な診察や検査を早めに受けるようにしましょう。

（千葉県歯科医師会）



日本歯科医師会PRキャラクター
よ坊さん（千葉・当地版）